

えひめ 土地改良だより

2024.4
Vol.530



みどり
水土里ネット 愛媛
(愛媛県土地改良事業団体連合会)



サクラダム (今治市朝倉)

CONTENTS

ご挨拶

- 就任のご挨拶
愛媛県土地改良事業団体連合会 会長 篠原 実1
就任の御挨拶
愛媛県農林水産部 部長 久保圭一郎2
就任のご挨拶
愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課 課長 宮内 真司3

予算情報

- 愛媛県の令和6年度当初予算の概要4

トピックス

- 愛媛県土地改良事業団体連合会第66回通常総会を開催6
全国水土里ネット第66回通常総会及び
全国水土里ネット表彰式開催8
令和5年度多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰
優秀賞を『上村地区環境保全向上隊』(東温市)が受賞8
「えひめ水土里ネット女性の会」設立総会9
中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議を開催10
再編復旧「玉津地区」「上浦地区」で植栽開始!11

取組事業の紹介

- 農村防災支援隊を活用したため池管理の取組12

新事業制度の紹介

- 多面的機能支払交付金
令和6年度からの改正点及び加算措置について13

水土里ネット情報

- 水土里ネット愛媛理事会開催14
愛媛県多面的機能支払推進協議会 令和5年度通常総会開催15
令和5年度 愛媛県水土里情報活用推進協議会通常総会15
愛媛県農業用水小水力等発電推進協議会 通常総会開催15
愛媛県土地改良事業団体連合会人事異動16
愛媛県農林水産部農地整備課関係人事異動(係長以上)16

お知らせ

- 「えひめ水土里ネット女性の会」会員の募集10
イベント情報14
ため池管理者のみなさんへ ーため池の点検をしましょう!ー17
!!爆発的な繁殖力の強害雑草!!
特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」県内初確認18



就任のご挨拶

愛媛県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット愛媛)

会 長 篠 原 実

陽春の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、皆様には、平素から水土里ネット愛媛の運営、活動に格別のご理解とご支援を賜っており、心から厚くお礼申し上げます。

さて、この度の役員改選に伴う理事会においてご推挙を賜り、愛媛県土地改良事業団体連合会長に再任され、大変光栄に思いますとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。役職員並びに会員の皆様とともに、本県農業農村の活性化と土地改良関係団体の更なる発展、並びに本会の円滑な運営に、全力を尽くして参る所存でございますので、引き続き、皆様のご支援、ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご案内のとおり、農業農村は、食料の安定供給はもとより、洪水の防止、水源の涵養、自然環境の保全や伝統・文化の伝承など多面的な機能を有しており、豊かな県土の発展に大きく貢献しておりますが、その一方で、本格的な人口減少社会の到来により、農業従事者の減少・高齢化等の課題に直面するほか、世界的な情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりなど、今日的な課題への対応も迫られるなど、大変厳しい状況下にあります。

このような中、農業を魅力ある産業として次世代に継承していくためには、多様な人材育成・確保を進めることはもとより、スマート農業の導入や産地収益力の強化に繋がる農地整備に加え、適時・適切な農業水利施設等の長寿命化対策、さらには、土地改良施設の維持管理を担う土地改良区の体制強化や多面的機能支払制度等による農村協働力の強化などを、より一層強力に推進し、先人から受け継がれてきた農地や水を最大限に活用していくことが求められております。

また、近年、頻発化・激甚化する豪雨や地震等の自然災害に備え、県民の生命と財産を守るため、農村の防災・減災対策をこれまで以上に進めていく必要があります。

水土里ネット愛媛としましては、今後も会員の皆様や関係機関との連携を強め、農業農村整備の推進や予算の確保に努めるほか、ため池適正管理のサポートや、複式簿記の定着・活用の支援、さらには男女共同参画の推進などの各種施策に役職員一丸となって取り組んで参りますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、この度の能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げ、被災地の一日も早い復旧・復興を願いますとともに、会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして就任のご挨拶といたします。



就任の御挨拶

愛媛県農林水産部

部長 久保 圭一郎

春暖の候、皆様方には益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、4月1日付けで愛媛県農林水産部長を拝命いたしました。もとより微力ではありますが、本県農業の振興のため、全力を尽くす所存ですので、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、元日に発生した能登半島地震から3か月が経過しました。いまだ多くの方々が避難生活を余儀なくされており、被災されました方々へ心から御見舞申し上げますとともに、県におきましても、西日本豪雨災害時にいただいた御支援を忘れることなく、職員の応援派遣や物資の提供など可能な限りの被災地支援に努めているところです。

本県におきましても、近年、頻発化・激甚化する集中豪雨などの自然災害や、いつ発生してもおかしくない南海トラフ地震に備え、ソフト・ハードを効果的に組み合わせた、農村地域の防災・減災対策の強化に総力を挙げて取り組んでいるところであります。

とりわけ、西日本豪雨により甚大な被害を受けた被災園地においては、柑橘園地の創造的復興を県政の最優先課題に掲げ、「原形・改良・再編」3つのパターンによる復旧工事とともに、市町やJA等と連携して、早期の営農再開に向けた土づくりや苗木生産などのソフト面の支援にも取り組んできたところであり、原形・改良復旧については、昨年度末までに全ての園地の工事が完了し、順次、営農が再開しており、災害に強く生産性の高い園地を創造する再編復旧については、県下の4地区全てで工事が本格化し、この3月には、再編整備された一部の園地で植栽が開始されるなど、着実に復旧・復興は進捗しております。今後もその歩みを緩めることなく、被災された生産者の方々の産地を守るという強い決意のもと、引き続き、市町やJA等と一丸となって、全力で完全復興に向けて取り組む所存でございます。

御案内のとおり、本県の農業は、中四国でも屈指の農業生産額を誇るなど、本県の基幹産業であります。

しかしながら、急激な人口減少に伴う担い手不足や高齢化の進行、燃料や資材等の価格高騰による生産コストの上昇や物流の2024問題など、多くの課題に直面しております。

このような中、県におきましては、次世代を担う農業人材の確保・育成はもちろんのこと、生産基盤整備やスマート農業導入による省力化や生産効率の向上、県オリジナルブランド製品の開発や販路開拓の積極的な展開など、各種施策の充実・強化を図り、将来にわたって産地を堅持して、本県農業の持続的な発展を全力で支えて参る所存でございます。

農業・農村は、農産物の生産はもとより、洪水の防止や水資源のかん養、自然環境の保全、さらには美しい景観の形成など様々な機能を有しており、国土の保全とともに、県民の生命、財産、豊かな暮らしを守る重要な役割を担っております。

皆様には、かけがえのないふるさとの貴重な財産を、次世代に確実に承継していくため、農業や農村地域を支える中核的な担い手として大きな期待が寄せられているところでありますので、引き続き、本県農業の振興に一層の御尽力をいただき、愛顔あふれるえひめ農林水産業の持続的な発展に、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方の御健勝と御活躍を心からお祈り申し上げまして、就任の御挨拶といたします。



就任のご挨拶

愛媛県農林水産部農業振興局
農地整備課

課長 宮内 真司

陽春の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、4月1日付けで農林水産部農業振興局農地整備課長を拝命いたしました。もとより微力ではございますが、本県の農業・農村の振興に全力で取り組む所存です。

まず、3月28日に成立した令和6年度の国の農業農村整備関連予算では、対前年比100.1%となる4,463億円が計上され、皆様方の働きかけのおかげを持ちまして本県農業農村整備の推進に必要な予算が確保されましたこと、厚く御礼申し上げますとともに、今後も引き続き御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、国では、「農政の憲法」と位置付けられる食料・農業・農村基本法の改正案が国会に提出され、四半世紀ぶりとなる改正に向けた審議が行われています。また、県では、西日本豪雨災害からの復興と防災・減災対策、人口減少対策、地域経済の活性化をはじめとする本県の課題と施策の方向性を定めた「愛媛県総合計画～未来につなぐ えひめチャレンジプラン」を昨年6月に策定し、「地域の稼ぐ力と県民所得の向上」に向けた生産基盤等の整備や、「誰もが安心して暮らせる社会づくり」に向けた農山漁村地域の防災対策を推進することとしています。

このような中、農地整備課としまして、県総合計画ならびに令和3年3月に策定した「えひめ農林水産業振興プラン2021」の目標である「農業産出額1,200億円」と「愛顔あふれるえひめ農林水産業の持続的な発展・次世代への継承」の実現に向けて、「西日本豪雨災害で甚大な被害を受けたかんきつ園地の復旧・復興」を最優先に、喫緊の課題である「農業従事者の減少・高齢化」や「頻発・激甚化する自然災害」に対処するため、「担い手対策」と「防災・減災対策」に重点を置いて、各種農業農村整備事業を展開してまいります。

「かんきつ園地の復旧・復興」では、県下4地区において「再編復旧」の工事が本格化しており、「玉津地区」「上浦地区」では、3月に一部園地で植栽が行われました。県としましては、関係農家や市町、関係機関の皆様とともに一日でも早い完全復興に全力で取り組んでまいります。

次に「担い手対策」では、担い手の規模拡大・所得向上を後押しするため、市町、土地改良区、JA、農地中間管理機構等と連携を密にしながら、農地の集積・集約化、営農の省力化・生産コストの削減を目指した水田の大区画化・汎用化、樹園地の緩傾斜化・高機能化に加え、スマート農業の実装やほ場周りの管理作業の省力化等に資する基盤整備を推進してまいります。特に、生産性が高く災害に強い園地の確保に向けた樹園地の「再編整備」をはじめ、安価で即効性の高い新たな整備手法の確立、スプリンクラー施設とICTを融合した高度な用水管理システムの開発など、「柑橘王国えひめを支える基盤づくり」に重点的に取り組んでまいります。

また、「防災・減災対策」では、大規模地震等に備え、令和2年10月に施行された「ため池工事特措法」に基づく防災重点ため池の集中的かつ計画的な老朽化・耐震対策工事等の推進に加えて、令和3年4月に開設した「ため池保全サポートセンター」との連携や、「ため池遠隔監視システム」の導入促進による管理・監視体制の強化など、ハード・ソフトの両面から、農業・農村の更なる安全性の向上対策に取り組んでまいります。

県内外の農業・農村を取り巻く情勢は、少子高齢化に加え、長引く物価高騰や物流の2024年問題など、厳しい状況が続いていますが、「愛顔あふれるえひめ農業・農村」の実現に向け、「オール愛媛」で挑戦して参りたいと考えております。

結びにあたり、皆様のご健勝と更なるご活躍を心からお祈り申し上げ、就任の挨拶に代えさせていただきます。

愛媛県の令和6年度当初予算の概要

令和6年度当初予算では、混迷する国際情勢をはじめ、能登半島地震など大規模災害や、想定を上回るスピードで進む少子化・人口減少、デジタル技術の急速な進展等の変動要因をしっかりと捉え、多様化・複雑化・高度化が進む様々な県政課題を先送りすることなく、確かな戦略のもと積極的な政策展開を図っていく。

また、西日本豪雨災害からの復興と防災・減災対策、人口減少対策、地域経済の活性化の県政の三本柱に、アフターコロナへの対応とデジタル技術の活用の二つの基軸を追加した公約を具体化した総合計画の目標達成に向けて、種をまいた政策の更なる成長と、将来を見据えた新たな仕掛けとの両輪で、「新ステージ」の挑戦を引き続き力強く推進していくための予算を編成している。

◆県一般会計予算額：7,283.0億円（前年度当初 7,069.3億円、前年度比 +3.0%）

このうち、農地整備課関係では、「西日本豪雨災害で甚大な被害を受けたかんきつ園地の復旧・復興」を最優先に、喫緊の課題である「深刻な農業従事者の減少・高齢化」や「頻発・激甚化する自然災害」に対応するため、「担い手対策」と「防災・減災対策」に重点を置いて各種農業農村整備事業を展開し、愛顔あふれるえひめ農業・農村の持続的な発展と次世代への継承を目指す。

◆農地整備課関係公共事業費：66.1億円（前年度当初 65.7億円、前年度比 +0.6%）

1 柑橘園地の創造的復興（404,754千円）

- 農地再編復旧整備事業費

（ 崩落した園地について、周辺の被災していない園地も含めて大規模にほ場整備を行う「再編復旧」により、災害に強く生産性の高い園地を創造する。 ）

2 農業農村を支える担い手対策（1,872,589千円）

- 農道整備事業費、担い手育成基盤整備事業費、小規模農業基盤整備事業費 等

（ 意欲ある担い手の規模拡大や所得向上につながる生産基盤の整備を推進し、産地の生産力を強化する。 ）

3 農業農村の防災・減災対策（1,930,321千円）

- ため池防災・減災対策事業費 等

（ 決壊時の影響が大きい防災重点ため池を中心に、ハード・ソフトの両面から、計画的かつ効果的な防災減災対策を推進し、農業農村の防災機能を強化する。 ）

4 農地・農業水利施設の適切な保全管理、中山間地域の振興等（2,404,211千円）

- かんがい排水事業費、農村総合整備事業費、農業集落排水事業費 等

（ 農業生産活動に不可欠な農地・農業水利施設の保全に加え、担い手の負担軽減や産地の防災機能の強化につながる取組みを推進する。 ）

その他予算として、国の日本型直接支払制度を活用し、地域の共同活動を支援する。

◆日本型直接支払制度関係予算：20.0億円（前年度当初 22.2億円、前年度比 ▲9.9%）

- 中山間地域等直接支払交付金事業費、農村環境保全向上活動支援事業費

令和6年度 当初予算公共事業費（農地整備課）

（単位：千円）

予算事項名	R 5 当初予算	R 6 当初予算	
	予算額（A）	予算額（B）	対前年比 （B） / （A）
かんがい排水事業費	1,642,465	2,061,892	126%
農道整備事業費	625,012	448,325	72%
担い手育成基盤整備事業費	1,313,845	1,335,314	102%
農地再編復旧整備事業費	389,550	404,754	104%
農村総合整備事業費	401,807	262,950	65%
農業集落排水事業費	15,125	39,000	258%
小規模農業基盤整備事業費	138,449	35,950	26%
国営造成施設等管理強化事業費	39,369	40,369	103%
国営緊急農地再編整備事業換地受託費	42,000	53,000	126%
土地改良費計	4,607,622	4,681,554	102%
海岸保全施設整備事業費	295,050	551,250	187%
地すべり対策事業費	262,500	89,775	34%
ため池防災・減災対策事業費※	—	1,185,839	—
ため池豪雨等防災対策事業費	877,207	—	—
農業水利施設防災対策事業費	112,350	77,257	69%
ため池地震防災対策事業費	381,990	—	—
ため池管理保全推進事業費	35,200	26,200	74%
農地防災事業費計	1,964,297	1,930,321	98%
公共事業費 計	6,571,919	6,611,875	101%

※ R 6 の統合予算事項名（ため池豪雨等防災対策事業費＋ため池地震防災対策事業費）。

愛媛県土地改良事業団体連合会第66回通常総会を開催



去る2月29日(木)松山市南堀端町のリジェール松山において、岸本憲彦愛媛県参与、仙台光仁中国四国農政局長をはじめとする来賓の方々を迎え愛媛県土地改良事業団体連合会第66回通常総会が開催された。

総会では、篠原実会長の開会挨拶の後、多年にわたり土地改良事業に多大な功績のあった団体、個人に対し知事並びに会長より、表彰状が贈られた。

続いて、八幡浜市土地改良区上田浩志理事長が議長に選任され議事に入り、令和4年度事業報告及び一般会計・特別会計歳入歳出決

算並びに財産目録をはじめ全10議案が原案どおり可決された。

最後に、武智邦典副会長が、農業農村整備事業の計画的な推進のため、必要な予算の安定的な確保など6項目の決議を力強く朗読し、満場の拍手により採択され閉会した。

〈土地改良功労者〉

【知事表彰】

- (個人) 世良 親臣 (今治市)
- 三浦 要作 (西予市)
- (団体) 松山市太山寺土地改良区
- 西予市宇和町土地改良区

【会長表彰】

- (個人) 近藤 徹也 (今治市)
- 今井 俊一 (松山市)
- 井上富士大 (西予市)
- 泉 雄二 (宇和島市)
- (団体) 金 章
- 東温市下林上土地改良区
- 銀 章
- 新居浜市新須賀土地改良区
- 松山市梅本地区土地改良区
- 銅 章
- 新居浜市多喜浜土地改良区
- 西条市朔日市新田土地改良区
- 松山市南高井土地改良区



【議 事】

- 第1号議案 令和4年度事業報告及び一般会計・特別会計歳入歳出決算並びに財産目録について
- 第2号議案 令和5年度一般会計歳入歳出補正予算について
- 第3号議案 令和6年度事業計画について
- 第4号議案 令和6年度賦課基準並びに賦課金徴収について
- 第5号議案 令和6年度一般会計・特別会計歳入歳出予算について
- 第6号議案 令和6年度役員報酬について
- 第7号議案 借入金及び余裕金の預入先について
- 第8号議案 定款の一部改正について
- 第9号議案 規約の一部改正について
- 第10号議案 役員改選について

決 議

本県の農業・農村は、中山間地域を多く抱えながらも、先人たちがたゆまぬ努力により維持管理してきた農地や農業用水等の地域資源を活かし、食料の安定供給はもとより、洪水の防止、水源の涵養、自然環境の保全、伝統・文化の伝承など多面的な機能を発揮し、豊かな県土の発展に大きく貢献してきた。

しかしながら、本格的な人口減少社会の到来により、農業従事者の減少・高齢化、担い手不足等による農地の荒廃や営農の継続への影響が顕在化しているほか、燃油や資材等の価格高騰による農業経営の圧迫、さらには世界的な食料情勢の変化による食料安全保障上のリスクの高まりなど様々な課題に直面している。

このような中、食料安全保障の強化に向け、持続可能な力強い農業の実現を図るためには、水田の大区画化・汎用化、樹園地の高機能化のほか、農業水利施設の適時適切な保全対策等を着実に進めていくことが極めて重要である。

加えて、近い将来発生が予測される大規模地震や、気候変動により激甚化、頻発化する豪雨災害に備え、県民の生命と財産を守るためには、老朽化が進むため池など土地改良施設の耐震化や豪雨対策など、農村地域の防災・減災対策を一層加速していく必要がある。

我々は、これらの対策に極めて有効な農業農村整備事業を強力に推進し、農業の成長産業化、農業・農村の強靱化、更には農村協働力の強化などによる農村の活性化を図るほか、これまで培ってきた経験と技術を活用し、農業を魅力ある産業として次世代の担い手に引き継いでいくため、次の事項の実現を国・県に強く要請する。

記

- 一、農業農村整備事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 一、食料・農業・農村基本法の見直しにあたっては、農業農村整備事業がこれまで果たしてきた役割に留意し、必要な規定を盛り込むとともに、関連する制度や事業・支援の一層の充実を図ること。
- 一、国産農産物の消費拡大を強力に推進するとともに、農地の集積・集約化やスマート農業の導入を促す農業生産基盤整備を着実に推進し、農業の競争力を強化すること。

- 一、農村地域の強靱化のため、老朽化した農業水利施設等の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策をより一層加速すること。特に防災重点ため池を中心に、計画的かつ効果的な防災・減災対策を強力に推進すること。

- 一、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に発揮されるよう、多面的機能支払制度による農地や水路、農道等の保全管理に係る共同活動等を推進すること。

- 一、小規模の土地改良区を重点とした統合整備を推進するとともに、複式簿記の定着・活用など土地改良区の運営基盤の強化のための支援を推進すること。

令和六年二月二十九日

愛媛県土地改良事業団体連合会
第六十六回 通常総会



全国水土里ネット第66回通常総会及び 全国水土里ネット表彰式開催

去る3月26日(火)東京都千代田区平河町の全国都市会館において、全国土地改良事業団体連合会第66回通常総会が開催され、令和5年度一般会計収入支出補正予算をはじめ全11議案を審議し、全議案が全会一致で原案どおり可決承認された。

総会終了後、シェーンバッハ・サボーに会場を移し、全国水土里ネット表彰式が行われた。本県からは道前平野土地改良区が農林水産大臣表彰を、神戸・橘一部土地改良区、東温市北方土地改良区の2団体、近本静信(今治市蒼社川土地改良区理事)村上誠(水土里ネット愛媛事務局長)、玉田雅浩(水土里ネット愛媛事業部長)の3名が全国水土里ネット会長表彰を受賞された。

また、八幡浜市真穴土地改良区が農業農村整備事業優良地区コンクールにおいて農林水産省農村振興局長表彰を受賞した。



表彰状の授与を受ける道前平野土地改良区 玉井理事長

令和5年度多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 優秀賞を『上村地区環境保全向上隊』(東温市)が受賞

去る2月27日(火)、東温市役所において、『令和5年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 表彰式』が開催され、中国四国農政局愛媛県拠点宮本地方参事官より上村地区環境保全向上隊の高市代表へ表彰状が授与されました。

上村地区環境保全向上隊では、植栽等の景観形成活動及び管理水路を利用した生物調査・生物の生息状況の把握などの農村環境保全活動に力を入れており、その活動を通して非農業者を含めた幅広い世帯の地域住民と交流を行うことにより、水路と農道等の草刈り・泥上げについても、地域ぐるみの保安全管理活動が定着しています。

今回の受賞は、本活動組織が農業者と非農業者の連携・協働に積極的に取り組み、地域ぐるみで地域資源の保管理体制を構築していることが、地域の将来に繋げる活動であり、他の組織の模範となるとして高く評価されたものです。



「えひめ水土里ネット女性の会」設立総会

去る3月14日(木)県土連ビル4階会議室において「えひめ水土里ネット女性の会」設立総会が開催された。

この会は、会員相互の情報交換を通じて、会員相互の親睦を深めるとともに水土里ネットの運営や活動に携わる女性の活躍及び参画の場を広げ、農業農村整備事業並びに土地改良区の円滑な業務の推進に資することを目的に、県下の土地改良区関係者など22名が会員となって設立された。

議事に先立ち、古賀徹中国四国農政局次長、笠見隆俊愛媛県農林水産部農村振興局技術監から来賓祝辞をいただいた後、議事に入った。

今回の設立総会では、「会則の制定」と「令和6年度事業計画」の議題について原案通り承認され、令和6年度第1回通常総会において会長をはじめとする役員を選任等を行うこととなった。

また、中国四国農政局川嶋土地改良管理課長が「土地改良区における男女共同参画」と題し、中国四国管内土地改良区における女性理事の登用状況や課題・対応案などの基調講演を行った。

設立総会終了後は、昼食を交えながら会員同士が様々な情報交換を行った。



お知らせ

「えひめ水土里ネット女性の会」会員の募集

現在、土地改良団体における男女共同参画が全国的な取り組みとして推進されています。本県において水土里ネットの運営や活動に携わる女性の活躍及び参画の場を広げ、農業農村整備事業並びに土地改良区の円滑な業務の女性活躍に向けた環境づくりを図るため、「えひめ水土里ネット女性の会」が令和6年3月14日に設立されました。

入会を希望される方は、入会届（別添様式）を郵送またはFAX等でお申込みください。

（活動内容）

- ・ 会員相互の情報ネットワークの確立
- ・ 研修会や講演会等の開催及び参加
- ・ 男女共同参画に係る情報発信 など

（会員資格）

会の趣旨に賛同し農業農村整備に携わる土地改良区等の女性役職員等

（会費）

1,000円 / 年

◇申し込み及びお問い合わせ先

〒790-0064

松山市愛光町1番24号（県土連ビル）

愛媛県土地改良事業団体連合会

総務部総務課（担当 喜安）

TEL 089-927-7000

FAX 089-927-7001

Mail somu@ehimedoren.or.jp

中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議を開催

3月18日（月）松山市大手町のホテルマイステイズ松山において、中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議が開催された。

会議では、令和5年度会議等実績報告、令和6年度要望活動項目等について審議された。



再編復旧「玉津地区」「上浦地区」で植栽開始！

西日本豪雨災害（平成30年7月）からの創造的復興に向けた取り組みとして、災害に強く生産性の高い園地の再建を目指し「再編復旧」に取り組んでいる宇和島市吉田町の「玉津地区」及び今治市大三島の「上浦地区」で、一部園地が完成し、苗木の植栽が始まった。

令和6年3月11日には、中村知事が「玉津地区（白浦工区）」の園地を視察し、復旧状況の確認と苗の植え付けを行うとともに生産農家へ激励等を行った。



R6.3 知事による苗の植え付け



R6.2 工事の進捗状況

3月14日には、「上浦地区（盛工区）」で、紅プリンセス等の苗木の植栽と現地見学会が開催された。盛工区は、スマート農業を導入した「未来型果樹園」への整備を進めており、JA おちいまばりが中心となって、新規就農者の育成拠点として活用予定である。



R6.3 植栽の様子



R6.2 工事の進捗状況

農村防災支援隊を活用したため池管理の取組

八幡浜支局農村整備第一課
西予市農業水産課

1. はじめに（現状と課題）

八幡浜支局管内には、520箇所の農業用ため池、229箇所の防災重点ため池がありますが、農業者の減少や高齢化が進み、利用されず管理されていないため池が増えるなど、保全・管理体制が弱体化しています。

一方、集中豪雨の多発や、近い将来に発生が予想される南海トラフ地震にも備えるため、ため池の適正な管理体制の構築と管理者の育成、技術継承が、喫緊の課題となっています。今回は、これらの状況を踏まえ、管理者の育成・技術継承を目的として西予市が実施している「ため池管理者研修会」について紹介します。

2. 愛媛県農村防災支援隊を活用したため池管理者研修会

西予市は、平成28年にため池管理者に対して実施した農業用ため池の管理に関するアンケートを契機に、毎年（コロナ期間を除く）梅雨時期頃、ため池管理者及び地区代表者等を対象に、農業用ため池管理者研修会を開催しています。

令和5年度には、標記「支援隊」から講師を招き、ため池サポートセンターが実施したため池点検や劣化状況評価の結果を踏まえた点検のポイントについての研修を行うなど、研修内容の充実を図るとともに、隊員の豊富な経験知識を活かし、より実践に即した研修を行っています。

そのほか、「地震時・大雨特別警報時の緊急点検」や「ハザードマップの公開」など地区自主防災組織の避難訓練等に役立ててもらうための啓発活動にも積極的に取り組んでいます。

【研修会】

宇和会場（対象：旧宇和町、三瓶町、明浜町）

令和5年6月23日 19：00 参加者42名

野村会場（対象：旧野村町、城川町）

令和5年6月30日 19：00 参加者31名

【防災パトロール】

門田池、芝池

令和5年6月15日 9：30～11：00

支援隊3名参加



宇和会場での研修会



門田池のパトロール

3. おわりに（管理活動のあり方）

ため池の保全・管理活動を継続して行うためには、まず、管理者が正しい知識を持ち管理技術を継承していくこと、そして農業者以外の地域住民を含めた地域が危機意識を持ち一体となって取り組んでいくことが重要です。このため、引き続き支援隊の協力も得ながら、実地点検やパトロール、研修会や啓発活動など実技と知識の両面から、具体的かつ現場で活かせる取組を実施していきたいと考えています。

多面的機能支払交付金 令和6年度からの改正点及び加算措置について

令和6年度から取組める加算措置が減少します！

令和5年度まで加算措置として支援を行ってきた資源向上活動（共同）における「農村協働力の深化に向けた活動への支援」及び「組織の広域化・体制強化に対する支援」は、令和6年度から新規に取り組むことができなくなりますのでご注意ください！

資源向上支払（共同）

(1) 施設の軽微な補修（毎年度必ず実施）

(2) 農村環境保全活動（毎年度必ず実施）

(3) 加算措置（任意の実施）

a) 多面的機能の増進を図る活動に対する支援

b) 農村共同力の深化に向けた活動に対する支援

c) 水田の雨水貯留機能の強化（田んぼダム）を推進する活動に対する支援

d) 組織の広域化・体制強化に対する支援



令和6年度からの新規取組はできません！



増進活動・田んぼダムに取組んで加算措置を受けませんか？

資源向上支払（共同）において、施設の軽微な補修及び農村環境保全活動を毎年度行っただけで、多面的機能の増進を図る活動や水田の雨水貯留機能の強化（田んぼダム）に取り組む場合、一定の条件を満たせば加算措置を受けられます！



・ 多面的機能の増進を図る活動とは？

- ① 鳥獣被害防止のための対策施設の設置
- ② 農業者・地域住民が直接参加した施設の補修、そのための技術習得
- ③ 田んぼダム等、水田やため池の雨水貯留機能の活用や危険ため池の管理体制の整備・強化

・ 加算を受けられる要件は？

増進活動の活動項目を直近の活動計画から1または2以上追加すること

・ 加算単価は？

加算単価・・・田：400円/10a

畑：240円/10a

・ 田んぼダムとは？

水田の落水口に流出量を抑制するための堰板や小さな穴の開いた調整版などを設置することで、水田に降った雨をゆっくりと排水し、田んぼダムに取組む地域やその下流域の湛水被害リスクを低減する取組。



・ 加算を受けられる要件は？

事業計画最終年度までに対象農用地面積の半分以上で活動に取り組むこと

・ 加算単価は？

加算単価・・・田：400円/10a

水土里ネット愛媛理事会開催

去る 3 月 27 日 (水) 県土連ビル 4 階会議室において第 66 回通常総会で選任された理事・監事による理事会、監事会を開催し、任期満了に伴う会長、副会長、専務理事、常務理事、代表監事の互選が行われ以下のとおり決定いたしました。

任期 令和 6 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

役 職 名	氏 名	他 の 役 職
会 長	篠原 実	四国中央市長
副 会 長	大城 一郎	八幡浜市長、南予用土地改良区連合理事長
副 会 長	高橋 征三	新居浜市上泉川土地改良区理事長、新居浜市洪水土地改良区理事長
副 会 長	武智 邦典	伊予市長
専務理事	小崎 勝次	学識経験者
常務理事	門田 宜也	学識経験者
理 事	玉井 敏久	西条市長、道前平野土地改良区理事長
理 事	世良 親臣	今治市土地改良区理事長
理 事	秀野 隆昭	松山市久保田土地改良区理事長
理 事	加藤 章	東温市長
理 事	河野 忠康	久万高原町長
理 事	二宮 隆久	大洲市長、大洲市土地改良区理事長
理 事	管家 一夫	西予市長
理 事	坂本 浩	松野町長、松野町土地改良区理事長
理 事	清水 雅文	愛南町長、大久保山土地改良区理事長
代表監事	佐川 秀紀	砥部町長
監 事	砂田 虎善	今治市蒼社川土地改良区理事長
監 事	志波 豊	城川町魚成土地改良区理事長

イベント情報

イベント	開催日	場 所	問合せ先	TEL	HP アドレス
佐古ダム周辺草刈及び清掃活動	5 月	東温市 (佐古ダム)	道後平野 土地改良区	089-943-0922	https://dogo-kai.sakura.ne.jp/
みかんの花まつり	5 月	八幡浜市 (日土ファームポンド)	南予用水 土地改良区連合	0894-24-4835	https://www.nanyoyousui.or.jp/
施設見学 (源流探検)	6 月	西条市 (面河ダム・志河川ダム)	道前平野 土地改良区	0898-68-7673	—
布喜川調整池周辺公園施設の 清掃、美化活動	6 月	八幡浜市布喜川	南予用水 土地改良区連合	0894-24-4835	https://www.nanyoyousui.or.jp/
東蓮寺ダム周辺公園施設の 清掃、美化活動	6 月	宇和島市吉田	南予用水 土地改良区連合	0894-24-4835	https://www.nanyoyousui.or.jp/

愛媛県多面的機能支払推進協議会 令和5年度通常総会開催

去る3月19日(火)、県土連ビルにおいて愛媛県多面的機能支払推進協議会令和5年度通常総会が開催された。

開会にあたり小崎会長より、能登半島地震にてお亡くなりになられた方々へのご冥福と被災された方々へのお見舞い、2月27日に閣議決定し、通常国会に提出された食料・農業・農村基本法の改正案に盛り込まれた条文により、今後、本制度の更なる推進や制度内容の充実を期待すると共に、本協議会としても、これまで以上に活動組織や対象農用地の維持に努めていくとの挨拶があった。

続いて、議事に入りすべての議案が原案どおり可決承認された。

第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算について

[令和5年度事業報告及び収支決算見込みについて]

第2号議案 令和6年度事業計画及び収支予算について

第3号議案 総会での議決に代わる書面議決書による議決について

令和5年度 愛媛県水土里情報活用推進協議会通常総会

愛媛県水土里情報活用推進協議会では令和5年度通常総会について、総会開催に代えて書面による議案の審議及び採決を行い、以下の議案について承認された。

第1号議案 令和5年度活動報告について

第2号議案 令和6年度活動計画について

愛媛県農業用水小水力等発電推進協議会 通常総会開催

去る3月19日(火)、県土連ビルにおいて愛媛県農業用水小水力等発電推進協議会通常総会が開催された。

開会にあたり小崎会長より「農業水利施設を活用した小水力等発電は、持続可能なエネルギー供給に寄与するとともに、農業水利施設の適切な維持管理を図るうえで大変重要であります。本日の総会が更なる情報交換の場になることを願っております。」との挨拶があった。

続いて議事に入り、第1号議案「令和5年度事業報告について」第2号議案「令和6年度事業計画について」が原案どおり可決承認された。

愛媛県土地改良事業団体連合会人事異動

(令和 6 年 4 月 1 日)

新 任		旧 任	氏 名
本 部	総務部次長（総務担当）（兼総務課長）	総務部 総務課長	喜安 学
	総務部次長（管理換地担当）（兼管理換地課長）	総務部 管理換地課長	白石 勝晃
	事業部 事業課 専門員	事業部 事業課 主任	藤田 篤史
	事業部 事業課 主任	事業部 事業課 技師	高市将太郎
東予事務所	東予事務所 副所長（兼事業課長）	東予事務所 事業課長	坂本 雅志
	東予事務所 管理課 主事	総務部 管理換地課 主事	池田 将
南予事務所	南予事務所 事業課長	南予事務所 事業課 主幹	三好 孝英
	南予事務所 事業課 係長	南予事務所 事業課 専門員	高橋 徹

退職者

(令和 6 年 3 月 31 日)

職 名	氏 名
事業部 事業課 技師	山本 直輝
東予事務所 管理課 係長	渡部 賢伸
総務部 管理換地課 農村環境保全向上対策室 主幹	恒岡 和佳

愛媛県農林水産部農地整備課関係人事異動（係長以上）

人事異動一覧表

(令和 6 年 4 月 1 日)

新 任		氏 名	旧 任
農地整備課	課長	宮内 真司	農林水産部 農業振興局 農地整備課 技幹
	技幹	大原 増樹	農林水産部 農業振興局 農地整備課 主幹（兼務 換地指導専門員）
	主幹	小池 英仁	土木部 土木管理局 用地課 主幹
	主幹	佐伯 新悟	南予地方局 農村整備課 企画調整室 室長
	主幹（兼務 換地指導専門員）	田尾 光章	今治支局 農村整備課 主幹
	計画調整グループ 担当係長	玉井 まき	農林水産部 農業振興局 農地整備課 ほ場整備係 専門員
	ほ場整備係長	岩崎 哲也	中予地方局 農村整備第二課 総合整備グループ 担当係長
	農業水利係長	和田 亮二	農林水産部 農業振興局 農地整備課 農業水利係 担当係長
	農業水利係 担当係長	宮城 靖志	農林水産部 農業振興局 農地整備課 事業管理係 専門員
	農地防災係長	西嶋 一成	農林水産部 農業振興局 農地整備課 農地防災係 担当係長
	農地防災係 担当係長	井上陽一郎	東予地方局 農村整備課 企画調整室 国営推進グループ 担当係長
東予地方局	農村整備課	課長	白坂 浩二
		主幹	高橋 明伸
		主幹	濱井 和久
		副主幹 （兼務 用地事業グループ 担当係長）	藤本 孝志
		副主幹 （兼務 農村整備グループ 担当係長）	和田 忍
		指導整備グループ 担当係長	影浦 直樹
	企画調整室	室長	山脇 秀元
		副主幹 （兼務 国営推進グループ 担当係長）	岡田 真治
		課長	西村 洋司
		主幹	檜垣 悟
今治支局	農村整備課	副主幹 （兼務 用地事業グループ 担当係長）	松本 篤
		農村整備グループ 担当係長	白石 佳子
		農村整備グループ 担当係長	中村 泰士
		課長	二神 理
		主幹	門田 至正
中予地方局	農村整備第一課	用地事業グループ 担当係長	真部 秀樹
		指導整備グループ 担当係長	大竹 一彦
	企画調整室	室長	中野 剛
		計画指導グループ 担当係長	坂井 創
	農村整備第二課	課長	宮崎 淳司
		総合整備グループ 担当係長	中岡 利康

新 任			氏 名	旧 任		
南予地方局	農林水産振興部	部長	宮田 正孝	農林水産部	農業振興局	農地整備課 課長
	農地整備課	主幹	浅野 克也	保健福祉部	保健福祉課	政策推進グループ 担当係長
		主幹	菊池 由一	八幡浜支局	農村整備第二課	総合整備グループ 担当係長
		用地事業グループ 担当係長	黒川 賢吾	中予地方局	環境保全課	廃棄物指導係 専門員
	企画調整室	室長	坂本 公一	南予地方局	農村整備課	主幹
計画指導グループ 担当係長		竹田 修	今治支局	農村整備課	農村整備グループ 担当係長	
八幡浜支局	農村整備第一課	課長	渡部 善文	八幡浜支局	農村整備第二課	課長
		主幹	清水 潤	八幡浜支局	総務県民室	総務県民グループ 担当係長
		主幹	川村 幸司	農林水産部	農業振興局	農地整備課 ほ場整備係長
		団体指導グループ 担当係長	平野 貴司	中予地方局	農村整備第一課 企画調整室	計画指導グループ 担当係長
	農村整備第二課	課長	宮竹 良典	東予地方局	農村整備課 企画調整室	室長
		総合整備グループ 担当係長	清水 義男	中予地方局	農村整備第一課	指導整備グループ 担当係長

退職者一覧表

旧 任	氏 名
南予地方局農林水産振興部 部長	松田 知一
中予地方局 農村整備第一課 課長	保利 誠司
中予地方局 農村整備第一課 用地事業グループ 担当係長	真鍋 俊二

ため池管理者のみなさんへ —ため池の点検をしましょう！—

ため池を長く安全に利用していくためには、日ごろからの点検が大切です。本格的な貯水を前に、身近なため池の点検を行いましょう！

【点検のポイント】

◎点検者の安全確保

草刈・点検は、必ず「複数人」で実施しましょう。また、もしもの転落に備えて、浮き（ペットボトル）やロープも準備しておきましょう。

◎堤体の草刈り

変状や漏水を確認するための第一歩です。多面的機能支払交付金や中山間直払制度を活用することも可能です。

◎貯水前の点検・清掃

堤体に亀裂や陥没、浸食が発生していませんか？ゲートやため池栓の開閉操作・ごみ詰まりなども確認しましょう。また、洪水吐き周辺の流木やごみは、ため池があふれる原因となりますので、取り除いておきましょう。

◎貯水は徐々に、漏水確認

落水後の貯水は、底樋やのり面・腰石積・地山との境などから水のしみ出しを確認しながら徐々にいきましょう。

◎点検結果の保存、異変や不安を感じたら早めの報告・相談

点検結果は、記録に残しておくことが大切です。また、異変や不安を感じたら、行政やため池保全サポートセンターに相談してください。点検結果の記録や行政への報告には、スマホでできるため池管理アプリの活用が便利です。

アプリの詳細・登録方法は、お住いの市町又は地方局農村整備課までお問い合わせください。



浮き・ロープ



ため池管理アプリの画面

！！爆発的な繁殖力の強害雑草！！

特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」県内初確認

東予地域の小河川及び農業用水路において、「特定外来生物」に指定されているナガエツルノゲイトウが、県内で初確認されました。

ナガエツルノゲイトウは茎の断片からも繁殖する驚異的な再生力により、ひとたびまん延してしまえば駆除は困難を極めます。まん延防止のためには早期発見・早期駆除が重要になりますが、草刈等での除草はかえって繁殖を助長させてしまう可能性があります。

直径 12～16mm



球状の白い花



繁茂状況

万が一、ナガエツルノゲイトウと疑われる個体が発見された場合には、**県地方局農村整備課に情報共有**いただくとともに、「ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアル」（農林水産省他作成）を参考に適切な対応をお願いいたします。

【再生力 大】 数 cm の茎断片から容易に発根
【拡散力 大】 茎は千切れやすく、水に浮く
【侵略性 大】 乾燥に強く、畑地などにも侵入

↓↓↓ **【ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアル】** ↓↓↓

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/nagae.html

第30回 農業農村整備事業 写真コンテスト 入選作品の紹介



優秀賞「宵の彩り」

撮影場所：西条市石田
撮影者：藤田 篤史



佳作「花満開」

撮影場所：内子町立石
撮影者：島瀬 祐美

※写真コンテストの内容は水土里ネットホームページでご覧いただけます。

農業農村整備事業・集落排水事業の
調査設計・実施設計業務・換地業務の委託、
土地改良事業のご相談なら土地改良連合会へ

水土里ネット愛媛



愛媛県土地改良事業団体連合会

本部 松山市愛光町1番24号（県土連ビル）
Tel (089)927-7000(代表) Fax (089)927-7001
ホームページ <http://www.ehimedoren.or.jp>
東予事務所 西条市王生川111番地1
Tel (0898)76-7255(代表) Fax (0898)76-7257
南予事務所 西予市宇和町卯之町3丁目434番地1
Tel (0894)62-7522(代表) Fax (0894)62-7525